

中国における「池田思想」研究の動向（20）

高橋 強・堀口 真吾

1. 池田思想研究に関する学術シンポジウム、フォーラム等

(1) 第14回「池田大作平和思想研究及びSDGs国際フォーラム」

2023年3月2日、台湾・中国文化大学にて、「文化と教育の王道」というテーマのもと、上記フォーラムが同大学「池田大作研究センター」主催で開催され、約400人の学生や教員らが集った。同フォーラムでは、8大学16人の研究者らが論文を寄せた。

開幕式では、中国文化大学の林彩梅元学長から、4年ぶりに開催されたフォーラムへの歓迎の言葉の後、同大学王子奇学長から、両大学の建学の精神のもと、世界平和のための人材輩出への決意が述べられた。次に創価大学の鈴木将史学長が、創価大学と中国文化大学の長年の交流への感謝を述べ、更なる共同研究の発展を期待するとともに、創価大学創立者池田大作氏のメッセージが代読された。

創立者はメッセージの中で、人間性の最も良い部分を薫発して歴史創造の力を結集しながら、未曾有の危機を新たな好機へと転ずることこそ、最も崇高な教育の重大な使命であると強調し、地球民族の多様性を最大に生かし、調和させながら、21世紀の天空に希望輝く平和と人道の虹を共に架けてまいりたいと述べた。また、「ポスト・コロナ」の時代に、人類史の新たな段階へ前進する啓発に満ちた出発をと願した。

以下、「会議日程」に基づき発表論文のテーマを紹介する（以下敬称略）。6名の基調講演があった。

全体基調講演

馬場善久「創価大学のSDGs推進の経験と展望」（創価大学）

林彩梅「池田大作のPME優位論が企業の文化と教育の王道に貢献する」（中国文化大学）

Tsuyoshi Takahashi（創価大学文学部教授）

Shingo Horiguchi（創価大学池田大作記念創価教育研究所）

第1会場基調講演

唐彦博「池田大作の持続可能な教育観の推敲」（中国科技大学）

呉安妮「SDGsがAVMの長期的発展をリードする」（政治大学）

第2会場基調講演

劉世慶「SDGsと企業のビジネスモデル」（政治大学）

陳清港「企業の社会的責任の概念と実践」（PLANET Technology Corporation）

午後の分科会にて、以下の論文が発表された。

第1分科会

蔡明発「持続可能な開発の観点から見た大学の社会的責任と人材育成」（明新科技大学）

許重副「持続可能な開発目標（SDGs）における池田大作の平和教育思想の重要性」（中国文化大学）

第2分科会

莊念青「『平和提言』の観点からSDG4の質の高い教育及び教員養成機関である大学の社会的責任を論じる」（屏東大学）

川上喜彦「創価大学生のSDGs推進活動」（創価大学）

第3分科会

何佳玲「ポスト・コロナ時代：世界の持続可能な発展に向けた行動」（淡江大学）

戴惟天「ESGと倫理教育・研修を通じた企業の持続的発展についての探求」（中国文化大学）

第4分科会

張守一「持続可能な開発のための教育活動を促進する普遍的な力——池田大作と創価学会インターナショナル」（清華大学）

高橋強「池田大作の『持続可能な地球社会』構築理念に関する一考察——3つの『価値創造』を中心として」（創価大学）

第5分科会

周建亨「持続可能な生産と消費——平和と尊厳のベジタリアン文化から」（中国文化大学）

武石信一「SDGsと池田大作思想の類似点と相違点」（中国文化大学）

(2) 日中平和友好条約の締結45周年記念「池田大作と中国」シンポジウム

2023年3月11日、浙江省の浙江越秀外国語学院にて、日中平和友好条約の締結45周年を記念する「池田大作と中国」シンポジウムが、創価大学の共催のもとオンラインを活用したハイブリッド形式で開催された。日中の学者約40名が参加し、池田氏の「人間主義」「平和理念」「生態理念」、「中日関係回復と発展に果たした貢献」等について幅広く討論し交流が行われた。

開幕式では、元駐日大使である中日友好協会の程永華常務副会長の来賓挨拶に続き、創価大学

の鈴木将史学長、浙江越秀外国語学院の葉興国学長が挨拶を行った。

以下、講演者と発表者を紹介する。

講演者

- 高橋強「中国の大学講演に見る池田大作の『人間主義』思想」（創価大学）※オンライン
温憲元「池田大作の共生主義思想」（広東省社会科学院）
胡令遠「歴史と現実の狭間で——池田大作先生の復旦大学での講義を再考する」（復旦大学）
汪婉「池田大作の平和理念の現実的意義」（中国社会科学院）
曾建平「環境の視点から見た池田大作の文明観」（江西省社会科学院）
林昶「池田大作及び中国と『日本学刊』」（『日本学刊』編集部）

発表者

- 田慶立「将来の日中関係に関する合意形成のための知的資源を考え探求する」（天津外国語大学）
董芳勝「創価大学生の『アイデンティティ』を形成する要素についての考察」（創価大学）※オンライン
卓光平「『池田魯迅』を通じた日本の『学術魯迅』と『民間魯迅』の結合」（紹興文理学院）
劉景瑜「日中民間交流の現状と動向についての簡単な分析」（北華大学）

青年研究者

- 王鵬飛「日中『1972年体制』における歴史問題の合意についての検討」（天津師範大学）
孟芮竹「池田大作の『人間主義外交』——1974年の中ソ訪問を事例として」（南開大学）
蔡暢「公明党の政治理念の源流を探る——池田大作思想を中心に」（上海政法大学）
薛政「生態学的マルクス主義の観点からみた池田大作の環境危機観」（江漢大学）

(3) 日中平和友好条約締結45周年、日中国交正常化提言55周年記念「日中友好青年交流対話会」

2023年9月4日、北京大学で、日中平和友好条約締結45周年、並びに池田大作氏の日中国交正常化提言55周年を記念し、「日中友好青年交流対話会」が開催された。北京大学王博副学長、来賓の中日友好協会程永華常務副会長等とともに、創価大学から訪中した神立孝一副学長、学生代表及び教職員約100名、北京大学の学生、留学生等が参加した。

北京大学の王博副学長は、池田氏の55年前の日中国交正常化の提言は、両国にとって大変大きな貢献であり、その後北京大学と創価大学は1980年に学術交流協定を締結し、これまで40年以上にわたる双方の交流によって、未来に向かう確実な基礎がすでにでき上がったと語った。

中日友好協会の程永華常務副会長は、池田氏の日中国交正常化の提言は、卓識ある勇気の表

れであり、この度の行事は、提言への感謝、青年への継承のために開催したものであると語り、1970年代に、新中国の初めての留学生を受け入れた創価大学を紹介した。また、「両国友好の未来は青年にあり」として、池田氏の貢献を手本に、友好活動を積極的に行い、中日友好の精神を受け継ぐ者として自国の本当の姿を伝え、東洋の智慧を守る人になってもらいたいと両国の青年に向けて語った。

（4）院生、学部生、学生団体等のフォーラム

①大連工業大学外国語学院が日本語読書交流会を開催

2023年4月23日、大連工業大学外国語学院日本語専攻にて日本語読書交流会が行われた。同大学では、2011年に池田大作思想研究所が設立される前年から、池田氏の著作を学ぶ「読書会」が学生主体で開催されている。

「世界本の日」であるこの日、外国語学院院長である池田大作思想研究所所長の劉愛君教授は、池田大作研究所と読書会の設立の過程を振り返り、中国内外の文化人である楊縫、梁曉声、林語堂、池田大作らの読書と人生に関する考え方を共有し、学生たちに「読書を愛し、良書を読み、読書が得意」というライフスタイルを身につけるよう呼びかけた。交流会では、周恩来元総理と池田大作氏の歴史的会見並びに両氏の青年への箴言などが日中両言語で語られた。

②仲愷農業工程学院「廖承志・池田大作研究会」が池田大作初訪中49周年を記念する座談会を開催

2023年5月28日、仲愷農業工程学院の学生団体「廖承志・池田大作研究会（廖池会）」による、「池田大作先生初訪中49周年記念座談会」が同会結成8周年記念として開催された。同大学マルクス主義学院長で廖池会指導教員の蔡立彬教授、「廖仲凱何香凝記念館」副館長の劉斌准教授、同大学「廖承志・池田大作研究センター」の高岳侖主任、顧問荒井富美子氏、研究会会長をはじめ、関係者や来賓等30数名が参加した。

同会学生より、池田氏の中国初訪問に関する研究発表が行われるとともに、新井氏から、池田氏の著書『青春の対話』についてビデオ発表が行われた。

劉斌副館長は、日中国交樹立初期のエピソードを紹介し、友好の先駆者たちが、平和と共同発展を追求した共通点、また共通点を探り交流を推進していくことの重要性を訴えた。

高岳侖主任は、「池田氏の闘争精神と闘争術に学ぶ」とのテーマで、日中関係が大きな困難にあった時期の池田氏の無私無欲の闘争精神、民衆のためという人民の心に根ざした闘争術及び卓越した勇気から、理論と実践の結合を堅持する学業や実務を実践して参りたいと語った。

最後に蔡立彬教授が、廖池会の更なる発展に期待を寄せ、活動を通じて団結し、共に成長する学生にと激励した。

③大連工業大学外国語学院が「第11回中日大学生読書交流会」を開催

2023年12月17日、大連工業大学外国語学院による、コロナ禍以来、4年ぶりの対面開催となる「第11回中日大学生読書交流会」が開催された。これには北京留学中の創価大生が招聘され、在学生3名、卒業生3名が大連を訪問して参加した。同大学日本語学科の学生約20名と共に、池田氏の著作『青春対話』を読み深めながら、青年の使命について交流を行った。

外国語学院院長である池田大作思想研究所所長の劉愛君教授は、この年逝去した池田氏へ深い哀悼の意を表すとともに、池田氏の中日友好への貢献の歴史を紹介し、「池田先生への報恩感謝を胸に、日中の青年たちが心と心の交流を通して、新たな日中友好の歴史を築いていきたい」と呼びかけ両国の学生を激励した。

④中国文化大学が「第9回池田大作思想研究国際青年フォーラム」を開催

2023年12月16日、台湾・中国文化大学の「池田大作研究センター」が主催する「第9回国際青年フォーラム」が台北市の同大学で開催され、「21世紀の青年—平和・文化・教育」のテーマのもと、台湾の各大学やデポール大学（アメリカ）、東京工業大学などの院生、学部生等12人が池田氏の思想哲学を考察した。

フォーラムでは、中国文化大学の同センターの李彦良所長らが挨拶し、最後に講評を寄せた林彩梅元学長は、世界平和と人類の幸福の実現のために、池田氏が取り組んできた人間教育の推進が最も重要であると述べ、池田氏は得難き人師であり、池田思想を「専門分野を超えて全教育者が学びながら青年を育むことが、より良き未来の建設に直結する」と語った。

フォーラムの発表者並びにテーマを以下に紹介する。

読後感想発表

王虹翔「信仰心を持った科学者を目指す」（台湾大学）

池田大作、ライナス・ポーリング対談集『「生命の世紀」への探求——科学と平和と健康と』
林靖侑「青春時代における挑戦と成長」（政治大学）

池田大作、王蒙対談集『未来に贈る人生哲学——文学と人間を見つめて』

林瓊瑄「健康と持続可能な開発における生命の尊厳と価値」（台湾海洋大学）

池田大作、ルネ・シマー、ギー・ブルジョ鼎談集『健康と人生——生老病死を語る』

楊雅棠「逆境の超越、未来の開拓を学ぶ」（台湾師範大学）

池田大作、シャルル・ナポレオン対談集『21世紀のナポレオン——歴史創造のエスプリを語る』

傅永豪「宗教の本質、生命の意味から現代社会の問題を論じる」（淡江大学）

池田大作、ブライアン・ウィルソン対談集『社会と宗教』

謝馨慧「人間教育と生活実践」（中央大学）

池田大作、ジム・ガリソン、ラリー・ヒックマン鼎談集『人間教育への新しき潮流——デュ

ーイと創価教育』

黃子恩「音楽隊の実践から文化振興と自己価値の確立を探究する」（東呉大学）

池田大作、ハービー・ハンコック、ウェイン・ショーター鼎談集『ジャズと仏法、そして人生を語る』

分科会発表

程映元「創価教育の視点から心身障害者の権利擁護のあり方を探る」（台湾大学）

呂鈺芊「命の若返りは可能か——再生医療と池田大作の人間主義思想から生命の可能性を探る」（陽明交通大学）

王文彬「池田大作の思想から世界平和への可能性を探る——ロシア・ウクライナ戦争を例に」（中山大學）

金子浩明「21世紀の青年に求められる『自他不二』の生き方」（日本・東京工業大学）

赤須律子「池田教育哲学の実践——人間教育の実践記録分析」（アメリカ・デポール大学）

2. 池田思想研究に関する論文・研究発表・講演・講座等

2-1. 論文・研究発表

(1) 池田大作「平和と友情を継承し、明るい未来を共に築く」『東北アジア学刊』2023年第4期
創立者は日中平和友好条約締結45周年の佳節を記念して寄稿文を発表した。

この中で創立者は、1974年に周恩来総理と会見した折、総理が日中平和友好条約の締結を熱望していたこと、条約締結後に南京の雨花台烈士陵園で恒久平和の建設を誓ったことを述懐しながら、条約締結をスタートとして、民衆同士の心に友好の金の橋を幾重にも懸けるために、青年に焦点を当てた文化と教育の交流を進めていくとの決意は、今もまったく変わらないと言及した。さらに5年前の締結40周年の際に、日中両国の協力で地球温暖化の対策強化をと提唱したことに触れ、この45周年の節目を、両国の友好の流れを「不惑」とし「天命」として輝かせていく契機にと念願した。最後に、若い世代の交流こそ未来への希望の光源であるとし、条約に込められた善隣友好の精神を忘れず、永遠に両国の若人が手を携えて「世界の平和共存」「人類文明の進展」に貢献しゆく明るい未来図を心に描きながら、条約締結50周年への前進を誓い合いたい、と寄稿を結んでいる。

(2) 神立孝一、高橋強、叢暁波、松森秀幸編

『人類の共生と世界市民教育——第11回池田大作思想国際学術シンポジウム論文集』（中国語）
創価大学発行、白帝社出版、2023年11月

(3) 曹婷・鄧佳夢「池田大作の人間外交の哲学と実践」（陝西師範大学・延辺大学）『大連大学学

報』2022年第2期

(4) 渡辺哲子「教育の質とジェンダー平等の推進—人間主義教育の視点から」(創価大学)

2023年3月28日に行われた「質の高い女性教育の提供の方途を探る国際教育シンポジウム」(中華全国婦女連合会等が主催)にて発表。創価教育研究所所員の渡辺哲子氏は、創立者が強調してきた創造性を育む人間中心の教育の重要性に言及した。

(5) 高橋強「日本における『周恩来精神』受容の一側面—文化、教育交流を中心として」

2023年4月21日、高橋強教授は「第6回周恩来研究国際学術シンポジウム」にて、池田大作氏の提唱する文化、教育を通じた民衆交流の理念が「周恩来精神」受容に果たす役割について言及した。

2-2. 講演

(1) 紀亜光「大公・大智・大信—周恩来総理と池田大作先生の友誼」(南開大学)

2023年9月7日、南開大学にて紀亜光教授が創価大学学生訪中団に講演を行った。

(2) 叢暁波「自我とその日中社会文化の比較」(創価大学)

2023年5月23日、河北大学のオンライン講演で叢暁波教授は、池田氏の提唱する個人の自立性と社会性について言及した。

叢暁波「日中交流の現状と課題」(創価大学)

叢教授は2023年8月29日、東南大学外国語学院(南京)にて、2023年11月15日、天津外国語大学日本語学院「求索先端学術フォーラム」(オンライン)にて、12月29日、広東外語外貿大学南国商学院にて、2024年1月4日、広東外語外貿大学日本語語言文化学院暨東方学研究院にて講演。池田氏が「中国は日本の文化的恩人」「これほど親密な国は世界にない」という信念のもと、日中交流の本質が文化交流にあるべきだとしてこれまで続けてきた行動に言及した。

2-3. 講座

(1) 「中国池田研究事情」(創価大学)が開講

中国の各研究機関による池田思想研究のこれまでの成果の発表の場として、創価大学の学部生を対象に、複数の講師陣によるオムニバス形式の授業「中国池田研究事情」が2023年4月より開講された。

池田思想研究者が現地からオンライン(一部対面の場合あり)で参加し、リアルタイムで講義を実施。

担当した研究者、タイトルは以下の通り。(敬称略)

春学期 14 名

- 2023 年 4 月 11 日 楊衛芳「周恩来・池田大作と人類の運命」(天津大学)
- 2023 年 4 月 13 日 陶金「『平和』『対話』と二十一世紀の『女性』——池田大作先生の女性観とその現代的意義」(大連海事大学)
- 2023 年 4 月 20 日 張曉剛「私と創価大学——池田大作平和学思想の研究を中心として」(長春師範大学)
- 2023 年 4 月 27 日 紀亜光「周池会見の歴史的価値」(南開大学)
- 2023 年 5 月 11 日 韋立新「『東洋の知恵』の魅力——中国学術界に広がる池田研究」(広東外語外貿大学)
- 2023 年 5 月 18 日 叢暎波「何故中国にて『池田現象』が起こっているのか——典範の池田大作が果たす日中友好を兼ねて」(創価大学)
- 2023 年 5 月 25 日 譚桂林「私の池田大作思想研究」(湖南大学)
- 2023 年 6 月 01 日 崔学森「池田平和思想とその実践」(大連外国語大学)
- 2023 年 6 月 08 日 高橋強「池田大作の『4つの主義』の核心的内容」(創価大学)
- 2023 年 6 月 15 日 高益民「池田思想研究と私」(北京師範大学)
- 2023 年 6 月 22 日 劉愛君「新時代の中日交流と大学生の使命——大連工業大学池田大作研究所の実践を中心に」(大連工業大学)
- 2023 年 6 月 29 日 賈凱「SGI の日記念の平和提言から見る池田大作先生の平和共生思想」(北京大学)
- 2023 年 7 月 06 日 胡令遠「『人間こそ歴史創出の主役』——池田大作先生と復旦大学」(復旦大学)
- 2023 年 7 月 13 日 張昌玉「池田先生の対話法について」(中国人民大学)

秋学期 13 名

- 2023 年 9 月 21 日 李俄憲「中国池田研究(文学)概況——華中師範大学の場合」(華中師範大学)
- 2023 年 9 月 28 日 冉毅「池田思想の人間主義及び人間教育の実践」(湖南師範大学)
- 2023 年 10 月 12 日 馬利中「『世界市民教育観』の樹立と新時代の『精神のシルクロード』の構築について——池田大作『文化主義』思想の検討」(上海大学)
- 2023 年 10 月 19 日 曾建平「池田大作環境思想研究」(広西省社会科学院)
- 2023 年 10 月 26 日 陶金「『平和』『対話』と二十一世紀の『女性』——池田大作先生の女性観とその現代的意義」(大連海事大学)
- 2023 年 11 月 09 日 陳多友「池田大作の読書体験と文学観について」(広東外語外貿大学)
- 2023 年 11 月 16 日 張曉剛「池田大作の平和思想の形成とその現代意義」(長春師範大学)
- 2023 年 11 月 23 日 叢暎波「何故中国にて『池田現象』が起こっているのか——典範の池田大作が果たす日中友好を兼ねて」(創価大学)
- 2023 年 11 月 30 日 陳毅立「仏教と日本人」(同濟大学)

2023年12月06日 韓東育「哲学的視点から見る池田思想」（東北師範大学）

2023年12月07日 拝根興「中国大陸の池田大作思想研究ブームの形成」（陝西師範大学）

2023年12月14日 高橋強「世界市民を通じた日中友好促進——『68年日中正常化提言』にみる世界市民の3要件」（創価大学）

2023年12月21日 王麗栄「池田大作の人間教育思想」（中山大学）

(2) 「池田大作の文明観」（湖南師範大学）が開講

湖南師範大学の言語文化研究院の研究員である冉毅教授（外国語学院教授・池田大作研究所副所長）による、「池田大作の文明観」に関する授業が今学期（2023年12月開始）から開講した。

2-4. その他

創価大学「日中友好研究助成」で2023年度に採択された中国社会科学院の王鍵教授の研究テーマは以下の通りである。

王 鍵「中日国交正常化と池田大作調和哲学思想」